

平成29年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	国立医薬品食品衛生研究所施設整備経費			担当部局庁	国立医薬品食品衛生研究所			作成責任者			
事業開始年度	昭和21年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	総務部 会計課			橋本 昌浩			
会計区分	一般会計										
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	-						
主要政策・施策	医療分野の研究開発関連、科学技術・イノベーション			主要経費	文教及び科学振興						
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	昭和63年の閣議決定に基づき、世田谷区上用賀から川崎市へ移転するため、具体的な研究所の環境整備、建物計画、工事費の概算等を決定し、必要となる工事等を行うことを目的とする。										
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	平成26年度より新庁舎建設工事に着手しており、平成29年6月竣工を予定している。平成28年度においては躯体工事及び内装工事を実施している。										
実施方法	直接実施										
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求				
	予算 の 状 況	当初予算	954	2,284	2,289	1					
		補正予算	-	-	-	-					
		前年度から繰越し	9	741	2,075	1,871					
		翌年度へ繰越し	▲ 741	▲ 2,075	▲ 1,871	-					
		予備費等	-	-	-	-					
		計	222	950	2,493	1,872	0				
	執行額		219	949	2,492						
	執行率 (%)		99%	100%	100%						
当初予算+補正予算に対す る執行額の割合 (%)		23%	42%	109%							
平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由						
	施設施工庁費		1								
	施設施工旅費		0								
	計		1	0							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度
	平成29年度においては、平成26年度に国庫債務負担行為契約に基づき締結した工事6件について引き続き実施する。		実施工事件数 (前年度に契約を締結し、引き続き工事を実施するものを含む)		成果実績	件	6	6	6	-	-
					目標値	件	6	6	6	-	6
					達成度	%	100	100	100	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)		国立医薬品食品衛生研究所新庁舎施工工程表									
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標					単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込
	契約工事件数				活動実績	件	6	6	6	-	
					当初見込み	件	6	6	6	6	
単位当たり コスト	算出根拠					単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	
	執行額(百万円)÷実施工事件数				単位当たり コスト	百万円	36.5	158.2	415.4	312	
計算式					/	219/6	949.3/6	2,492.4/6	1,872.5/6		

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	-									
		施策	-								
	測定指標		定量的指標				単位	26年度	27年度	28年度	中間目標
										-年度	-年度
					実績値	-	-	-	-	-	-
				目標値	-	-	-	-	-	-	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
	-										
	アクション・プログラム	改革項目	分野:	-							
			KPI (第一階層)					単位	計画開始時	28年度	29年度
						-年度			-年度	-年度	
				成果実績	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-		
			達成度	%	-	-	-	-	-		
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係											
-											
事業所管部局による点検・改善											
国費投入の必要性	項 目				評 価	評 価 に関 する 説明					
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。				○	国立医薬品食品衛生研究所は国民の健康と生活環境を維持・向上させること等を目的に研究等を行っており、当研究所の移転による一極集中是正は多極分散型国土の形成を促進するため、国民のニーズがある。					
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。				○	国の施設機関であるため、国が主体となって実施する必要がある。					
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。				○	当研究所の移転による一極集中是正は多極分散型国土の形成を促進するため、優先度が高い。					
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。				○	会計法に基づき一般競争入札を実施し、競争性を確保した。また、随意契約の場合であっても複数社から見積を徴収し、最廉価額の者と契約を締結した。競争性のない随意契約となったものは、光熱水料によるライフラインに係る経費、既存の電話機器の通信料及び高速道路利用料である					
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。				無						
	競争性のない随意契約となったものはないか。				有						
	受益者との負担関係は妥当であるか。				-	-					
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。				○	妥当なコストとなっている。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。				-	-					
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				○	真に必要な経費のみ支出している。					
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)				-	-					
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)				○	特殊ガス設備の貯蔵施設に係る躯体の変更、受変電設備の接続工法の変更、隣地から越境している既存工作物の処理に伴う外構工事の変更の不測の日数を要したため。						
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。				○	調達の際に競争性を保つことで、より効率的な予算の執行に努めている。						

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	目標に見合ったものとなっている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	事業目的達成のために効率的な方法で実施しており、また毎年度成果も着実にあげていることから、他の手段と比較して、実効性は高いと考えられる。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	28年度の実施工事件数は6件であり、見込みに見合ったものとなっている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-

関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	本事業は、国立医薬品食品衛生研究所の環境整備、建物計画、工事費の概算等を決定し、必要となる工事等を行うことを目的としている。一方、国立医薬品食品衛生研究所共同利用型高額研究機器整備費は、厚生労働行政に必要な行政研究・事業や厚生労働科学研究の遂行に資する化学系の最先端機器を、厚生労働省全体の共同利用型機器として整備することを目的としている。従って、内容及び経費執行に重複はない。
	所管府省名	事業番号	事業名	
	厚生労働省	0838	国立医薬品食品衛生研究所共同利用型高額研究機器整備費	

点検・改善結果	点検結果	<ul style="list-style-type: none"> 川崎市への移転を計画通りに進めるために必要な整備を行った。 経費の執行にあたっては、執行管理表により支出先及び用途等について管理を行い、適正な執行に努めている。 平成26年度に建設工事業者との契約を締結したところであり、平成29年6月竣工を目標に進捗している。
	改善の方向性	適切に予算を執行し、事業の目的を達成できているため、引き続き経費の適切な執行及び目的の達成に努める。

外部有識者の所見

外部有識者の所見

行政事業レビュー推進チームの所見

行政事業レビュー推進チームの所見

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

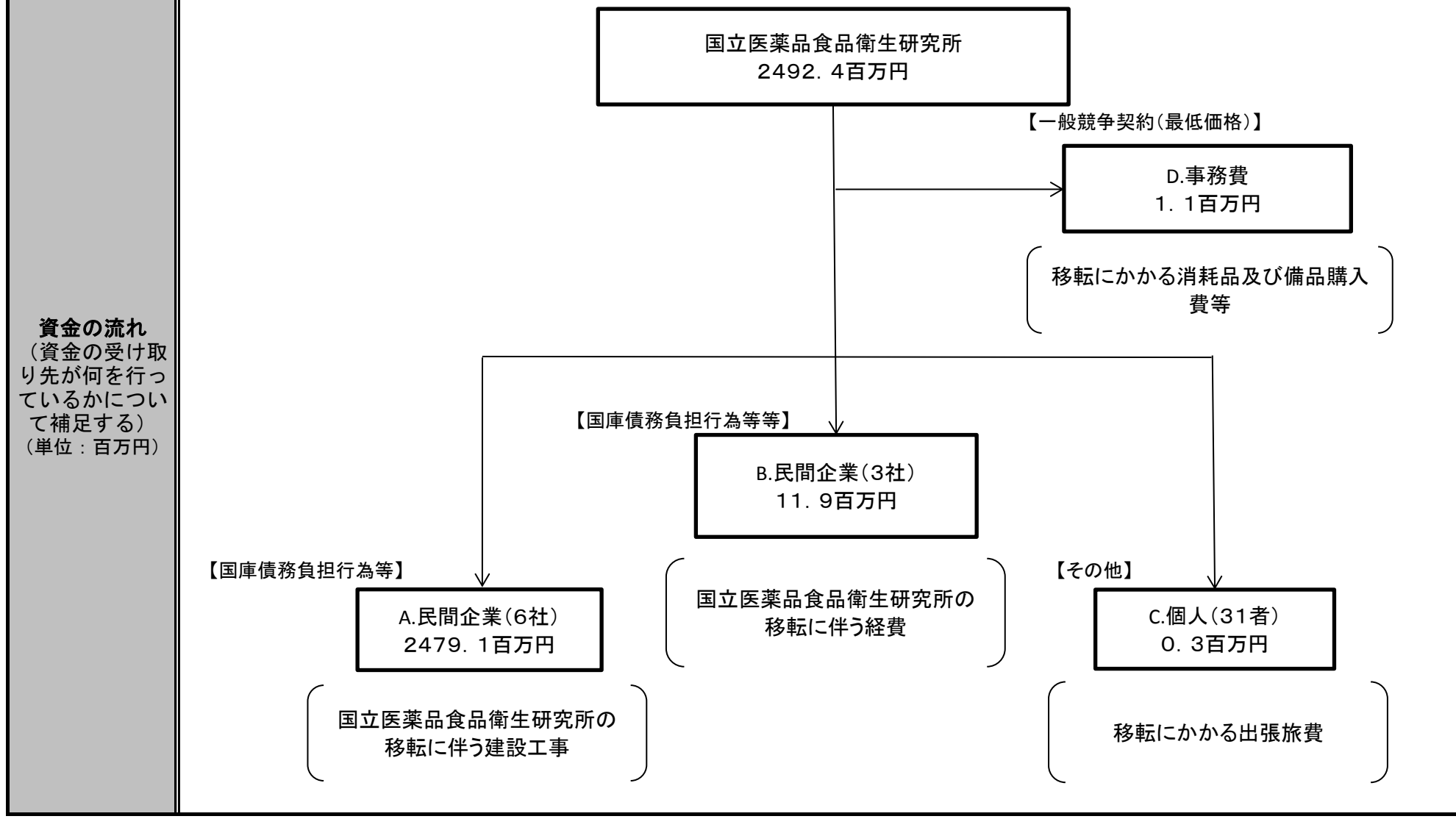
備考

備考

関連する過去のレビューシートの実績番号

平成22年度	577	平成23年度	526	平成24年度	466	
平成25年度	933	平成26年度	932	平成27年度	938	
平成28年度	906					

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



費目・用途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と用途 の双方で実情が 分かるように記 載)	A.五洋建設(株)			B.日和エンジニアリング(株)		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	工事費	国立医薬品食品衛生研究所の移転に伴う 建設工事(平成26年度国庫債務負担行為)	1,100.2	雑役務費	国立医薬品食品衛生研究所の移転に伴う 工事監理業務(平成26年度国庫債務負担 行為)	7.8
	計		1,100.2	計		7.8
	C.			D.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
-	-	-	-	-	-	
計		0	計		0	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	五洋建設(株)	1010001000006	国立医薬品食品衛生研究 所の移転に伴う建設工事 (平成26年度国庫債務負 担行為)	1,100.2	国庫債務負担 行為等	-	--	
2	川本工業(株)	1040001050436	国立医薬品食品衛生研究 所の移転に伴う実験機器 設備工事(平成26年度国 庫債務負担行為)	643.8	国庫債務負担 行為等	-	--	
3	三建設備工業(株)	6010001044155	国立医薬品食品衛生研究 所の移転に伴う機械設備 工事(平成26年度国庫債 務負担行為)	547.7	国庫債務負担 行為等	-	--	
4	(株)関電工	9010401006818	国立医薬品食品衛生研究 所の移転に伴う電気設備 工事(平成26年度国庫債 務負担行為)	138.3	国庫債務負担 行為等	-	--	
5	(株)東芝	2010401044997	国立医薬品食品衛生研究 所の移転に伴う特高受変 電設備工事(平成26年度 国庫債務負担行為)	43.9	国庫債務負担 行為等	-	--	
6	(株)日立ビルシステ ム	2010001027031	国立医薬品食品衛生研究 所の移転に伴うエレベ ーター設備工事(平成26年 度国庫債務負担行為)	5.2	国庫債務負担 行為等	-	--	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	日和エンジニアリン グ(株)	7013301009652	国立医薬品食品衛生研究 所の移転に伴う工事監理 業務(平成26年度国庫債 務負担行為)	7.8	国庫債務負担 行為等	-	--	
2	(株)日建設計	9010001006111	国立医薬品食品衛生研究 所の移転に伴う設計業務 (平成26年度国庫債務負 担行為)	4	国庫債務負担 行為等	-	--	
3	東建サービス(株)	4010001023838	移転先敷地歩道清掃作業	0.1	随意契約 (少額)	-	100%	

